

地域向けアンケート

市民へのアンケート調査に加え、住民自治協議会への調査を行いました。市民調査と同様、現状を把握し、「文化財保存活用地域計画」の策定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施したものです。

◇調査の方法

- ①調査対象地域 伊賀市全域
- ②調査対象者 全ての住民自治協議会
- ③調査期間 令和3年10月8日～10月29日
- ④調査方法 調査票による代表者記入方式

◇配布・回収数

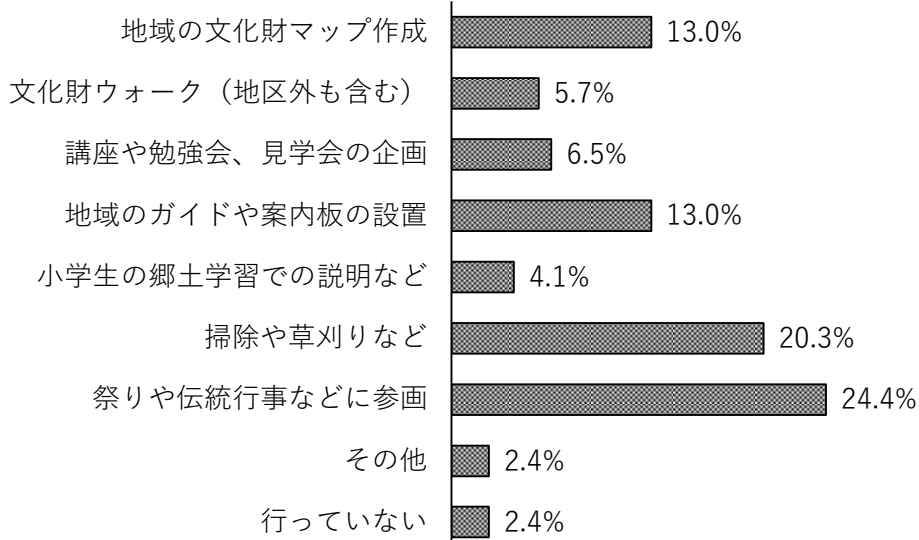
市内39団体へ送付、46団体（自治協内各地区からの回答も含む）から回答がありました。

あなたの地域と文化財との関わり方について

問1. あなたの地域では、文化財の保護や活用の取り組みを行っていますか。次のうちから該当するものをお選びください。【N=46】（以下、Nは有効回答数です。）

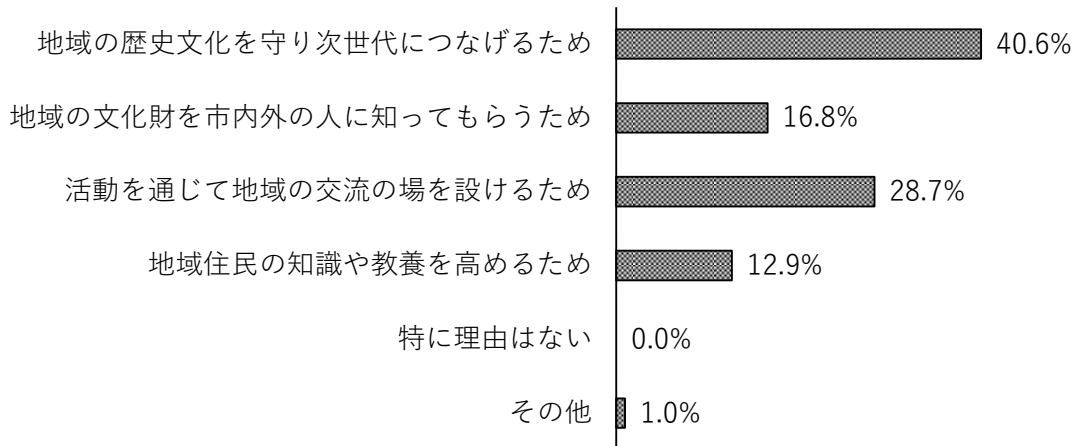
「祭りや伝統行事などに参画」が24.4%と最も高く、次いで「掃除や草刈りなど」が20.3%で続いています。また、「地域の文化財マップ作成」、「地域のガイドや案内板の設置」がともに13.0%で比較的高くなっています。

一方、「文化財ウォーク」（5.7%）、「講座や勉強会、見学会の企画」（6.5%）、「小学生の郷土学習での説明など」（4.1%）といった「祭や伝統行事」以外のイベントの開催に取り組んでいる地域は比較的小さいことがうかがえます。



問 2. 問 1 で、1～8 をお選びいただいた地域の方におたずねします。あなたの地域が文化財に関わる（活用する）理由は何ですか。次のうちから主な理由を3つまでお選びください。【N=43】

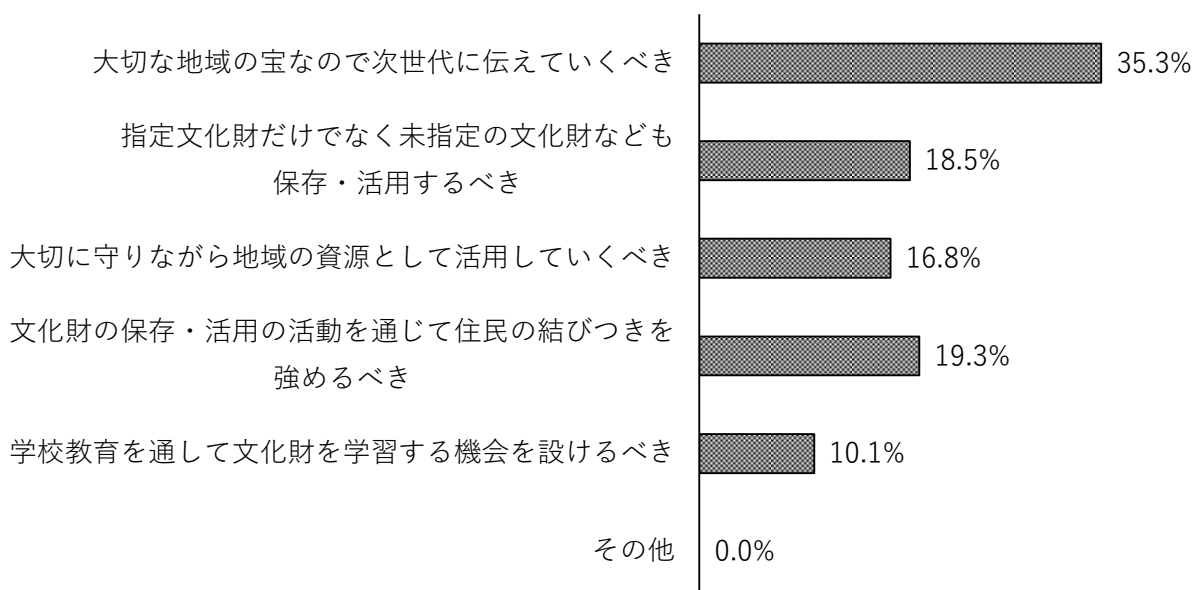
「地域の歴史文化を守り次世代につなげるため」が40.6%で最も高く、次いで「活動を通じて地域の交流の場を設けるため」が28.7%、「地域の文化財を市内外の人に知ってもらうため」が16.8%が続いています。



文化財の保存・活用のために必要なことについて

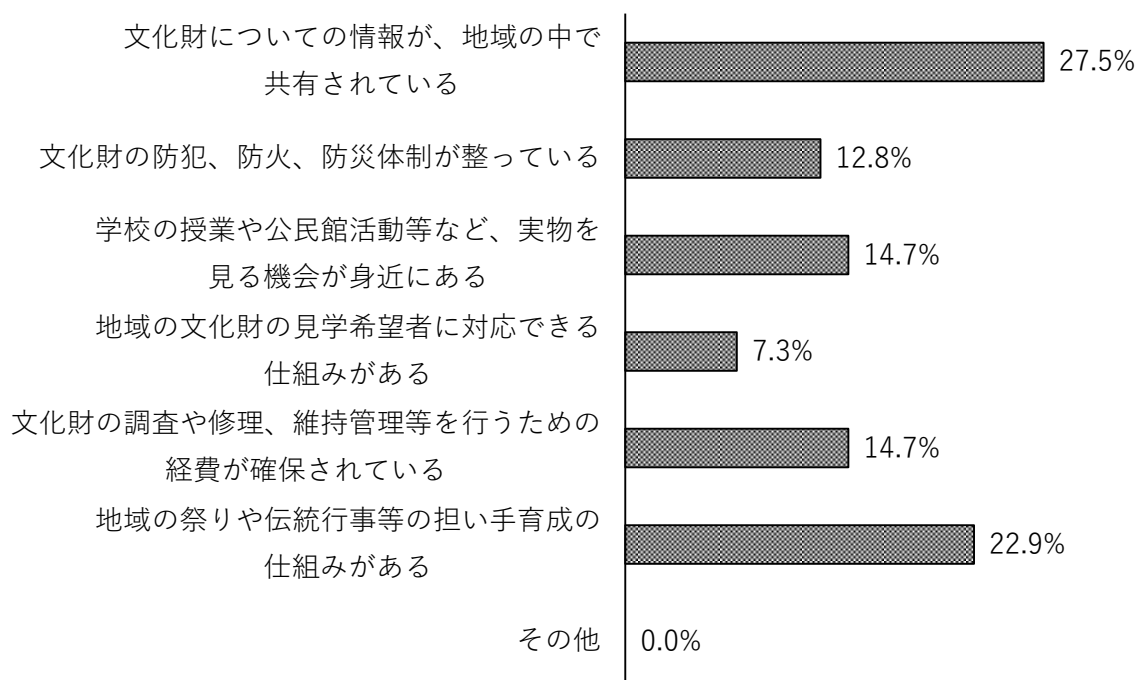
問 5. あなたの地域では、文化財についてどのようにお考えですか。次のうちから主なお考えを3つまでお選びください。【N=46】

「大切な地域の宝なので次世代に伝えていくべき」が35.3%と最も高く、次いで「文化財の保存・活用の活動を通じて住民の結びつきを強めるべき」が19.3%、「指定文化財だけでなく未指定の文化財なども保存・活用するべき」が18.5%、「大切に守りながら地域の資源として活用していくべき」が16.8%が続いています。



問6. あなたの地域では、文化財を保存・活用するために必要なこと（望ましい姿）について、どのようにお考えですか。次のうちから3つまでお選びください。【N=46】

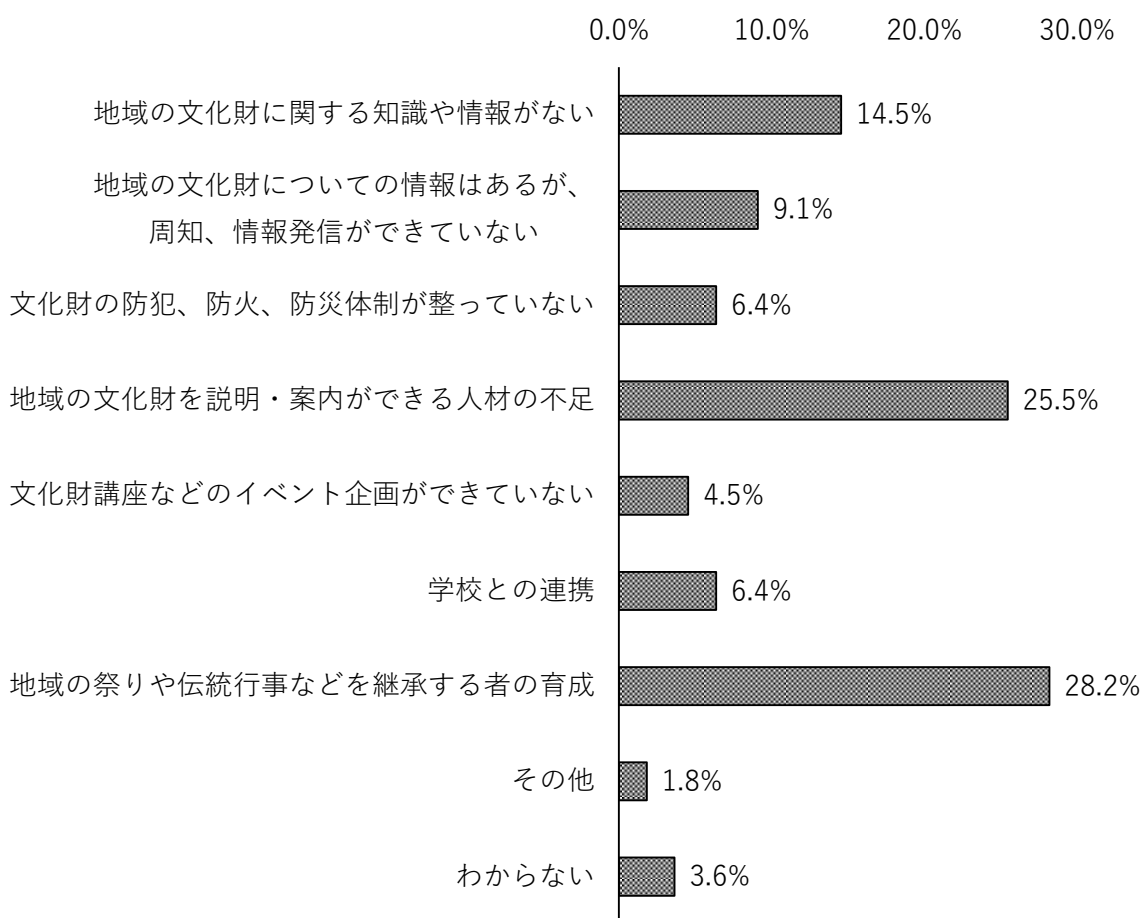
「文化財についての情報が、地域の中で共有されている」が27.5%と最も高く、次いで「地域の祭りや伝統行事等の担い手育成の仕組みがある」が22.9%で続いています。また、「学校の授業や公民館活動するなど、実物を見る機会が身近にある」、「文化財の調査や修理、維持管理等を行うための経費が確保されている」がともに14.7%と比較的高くなっています。



問8. 問6・問7を進めるために、課題となっていることは何ですか。次のうちから3つまでお選びください。【N=46】

「地域の祭りや伝統行事などを継承する者の育成」が28.2%、「地域の文化財を説明・案内ができる人材の不足」が25.5%とともに25%を超えて高くなっており、文化財の保存・活用のための人材不足が課題であると考えている地域が多いことがうかがえます。

次いで、「地域の文化財に関する知識や情報がない」が14.5%、「地域の文化財についての情報はあがるが、周知、情報発信ができていない」が9.1%で続いており、文化財に関する情報の普及・継承にも課題があると考えられていることがうかがえます。



問9. 問6・問7を進める上で、地域が主体的に取り組んでいくと良いと思うものはどれですか。次のうちから3つまでお選びください。【N=46】

文化財の保存・活用のために『地域が主体的に取り組んでいくと良いと思うもの』については、「助成金等活用で地域主体の文化財の保存、活用の活動」が23.9%と最も高く、次いで「地域の文化財や歴史を学ぶ機会を設ける」が21.2%が続いています。また、「地域の祭りや伝統行事の担い手を育成」が16.8%、「地域の文化財や歴史を記録する」が15.9%と比較的高くなっています。

